

野外文化大学報告

NEC米沢

市立米沢図書館「ナセBA」

二〇一七年六月二四日の米沢での当会総会に合わせ、野外文化大学が実施されました。



NECパーソナルコンピュータ

米沢事業所

NEC米沢工場見学

総会前日午後、米沢駅東口近くの標記工場を訪問しました。ここでは、世界最軽量のパソコン（PC）が生産されています。

三十年前本社や中核工場の下請けだったこの米沢工場（旧・米沢製作所）が、工場独自技術でのノートブックPCの開発で、NECの中核工場になりました。

ビデオなどによる製品や生産工程など説明の後、工場見学となりました。

ユーザの仕様に合わせると二万種類となるPCを一日最大で二万台以上、受注して最短三日で作っているそうです。これを実現するのが、多品種少量生産を可能にする「セル生産方式」。ベルトコンベア方式でなく、一か所で少人数が製品を組み立てる方式です。部品が、「かんばん方式（トヨタ生産方式）」で即座に届く。PCの販売状況をモニター・予測しながら、生産計画が立てられ、部品等の納入業者へきめ細かく発注するサプライ・チェーンを確立することで無



工場内、3人1組での組み立てライン

駄のない迅速な生産を実現しています。

二フロアから成る生産現場でしたが、空間的なゆとりが感じられました。本事業所幹部であった種村米沢副支部長によれば、以前近くにあった部品倉庫が必要なくなり、生産や部品供給の合理化とPC自体の小型化で省スペースの生産を実現しています。従業員のアイデアが随所に生かされ、「日本のモノづくり」の健在さを実感しました。

市立米沢図書館 ナセBA見学

総会当日の午前、標記を訪問しました。



ナセBA全景

所在；米沢市中央1-10-6

昨年七月一日に新装オープンし、図書館と市民ギャラリー（二階部）からなります。愛称「ナセBA」は上杉鷹山公の名言「なせば成る」が由来です。当会新会長・大滝則忠さん（前・国会図書館長）も基本計画策定委員長として関与されました。

村野館長にご案内いただき、一般利用者が入れない郷土資料収納スペースなども見学させていただきました。



図書館フロア（2F）

一階が市民ギャラリー。図書館は二階ですが、写真のように四フロアぶち抜きと開放的な空間にあります。前図書館に比べ郷土図書も含め開架図書が圧倒的に増え、閲覧スペースもたっぷりあります。

ITも活用し、休刊日を月一回に減らし、利用者本位の運営をしています。

所在地はシャッターストリート化した市街中心部ですが、地域再活性化にも寄与しているようです。未だの方には、是非の訪問をお勧めします。

なお両見学先の掲載写真は、インターネットから採集しました。

米沢市長との懇談、懇親会

NEC米沢訪問後、米沢市役所を訪問し中川勝市長と懇談する機会を得ました。ふるさと納税返礼品として好評だったNEC米沢のPCは政府指針で不適となったそうです。なお中川市長には、七月八日東京での文化大学講師をお願いしております。

その後、小野川温泉やな川屋旅館で懇親会が開かれました。

今回の企画は、訪問先との交渉やマイクロボスの手配など、米沢支部の多くの方のご尽力で実現しました。深く感謝申し上げます。

(記・東京支部長 加藤国雄)